

2022年10月12日

輸送動向について（2022年9月分）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷に加えて、前線停滞による各地区大雨に伴う奥羽線の不通や台風による災害影響を受けたものの、前年に山陽線等が不通となっていた反動等により、ほぼ前年並みとなった。

自動車部品は、半導体不足および海外からの部品調達困難が緩和傾向にあり増送となったほか、積合せ貨物は、2021年10月からのブロックトレイン運転開始等により前年を上回った。食料工業品は、10月からのビール等の値上げ前の駆け込み需要により好調となった。

一方、紙・パルプは、紙需要減に伴う生産減により低調となったほか、農産品・青果物は、奥羽線不通等の災害影響や米の需要減により前年を下回った。コンテナ全体では前年比100.3%となった。

車扱は、石油が新型コロナウイルス感染症の影響緩和によりガソリンを中心に前年を上回った。車扱全体では前年比100.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比100.4%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,566	1,560	100.3%	8,894	8,968	99.2%
車 扱	642	639	100.4%	3,579	3,481	102.8%
合 計	2,207	2,199	100.4%	12,473	12,450	100.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	168	182	-14	92.4%
	化学工業品	131	130	1	100.7%
	化学薬品	104	104	0	99.2%
	食料工業品	242	234	8	103.4%
	紙・パルプ	183	201	-18	91.4%
	他工業品	111	100	11	111.7%
	積合せ貨物	248	240	8	103.6%
	自動車部品	59	43	16	135.8%
	家電・情報機器	30	24	6	124.4%
	エコ関連物資	34	38	-4	88.6%
	その他	256	265	-9	96.6%
コンテナ計	1,566	1,560	6	100.3%	
車 扱	石油	413	403	10	102.3%
	セメント・石灰石	122	126	-4	96.8%
	車 両	64	65	-1	97.9%
	その他	43	45	-2	97.0%
	車 扱 計	642	639	3	100.4%
合 計		2,207	2,199	8	100.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)